

8月のセンスアップ講座



プレイパークいわみ

夏休みの工作が
できちゃった♪

こうみんかん だより

No.362



第7回いわみフレスコフエスティバル

11月2日(金)～4日(日) 開催

～人権・健康・文化の祭典～

絵画・彫刻・版画・版画・書道・写真・工芸・手芸等、日頃の成果をこの機会に発表してください。皆さんの作品をお待ちしています。

イベントは、3日・4日の2日間、中央公民館、駐車場、町民体育館で午前10時スタートです。ご期待ください。

問い合わせ先 中央公民館 ☎72-0510
詳細は10月号でお知らせします。

このこうみんかんだよりを読んでいたところには、もう、夏休みは終わっています。よいこのみんな「宿題」全部できたかな？ 工作に悩んだ人いませんか？ 8月のプレイパークいわみでは、わらべ館おもちゃ教室を開催し、夏休みにぴったりの木工工作に挑戦しました。

板に好きな絵を描き、枠をくっつけ、コンコンと釘を打ち、あつというまに出来上がった「コリントゲーム」。指ではじくビー玉が、どの部分に引っかかるかを楽しむゲームです。打ち込む釘の数や場所によって、かきやすさが決まります。また、各箇所点数を書いてもかまいません。あれやこれやと考えながら作るのも楽しいし、完成したおもちゃで遊ぶのもこれまた楽しい！ 普段使わないカナヅチを使うのは少し難しかったけど、子どもたちにとっては貴重な体験になったと思います。

いわみ 高齢者大学



7月に行った第3回目の電気のはなしに引き続き、8月の第4回目は食品安全についての話を、中国四国農政局鳥取農政事務所の宮石さんと野澤さんにお聞きしました。

普段何気なく口にしている物でも、摂取量や吸収量で健康へ害を及ぼすことがあることや、体質や体力の違いによって影響の受け方も違うということが分かりました。何

といっても、安心、安全な食生活を送るには、食品に対する正しい情報と認識をもつことが大切だということ。疑問や不安に思うことも、まあ大丈夫かなという思いでついそのままにしがちですが、まず正しい知識を得ようとするのが、安心安全な食生活を送る第一歩なのだと思います。

知ること、学ぶことってやっぱり大切！ そう感じられることが、高齢者大学の醍醐味！と改めて感じた学習会でした。

岩美川柳会

「自由吟」

揺れている心真っ直ぐ釘打てぬ

山田 たぬ

しあわせを掴もう錆びた釘同士

岡本 幸枝

母の愛父の嫌と混ぜ合わす

羽津川公乃

隠し味少し混ぜてる人気者

飯野 苺子

目と口を肥やす浪費が止まらない

田口 清帆

増税にブレーキかける我の票

小西 幸安

会議には必ず混ざる人がいる

北村 稔

建前に本音混ぜればややこしい

山下 節子

娘の縁談へ父はブレーキばかり

石谷美恵子

寝て頷いてから長い酒

山下 蟹郎

爽やかなブレーキだった毒舌家

石谷 忠良

松かさ短歌会

生き生きと雨に艶めきあじさいの白青紫花まり清し

井筒三重子

開け放す部屋に日の差しリサイ

クルに選びつつ書棚の整理をす

すむ

稲村 信枝

軒先のすだれを通すさわやかな

朝風吸いて机に向かう

岩垣 明美

幼き日たわわにみのりし柿の木

の年老いて今三ツを数う

前田喜代美